

STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●LWZ-130J
●LWZ-130JE

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえ	4
3-1. LWZ-130Jの各部のなまえ	4
3-2. LWZ-130JEの各部のなまえ	4
3-3. コントローラの表示内容	5
4. ご使用方法	7
4-1. 運転の開始	7
4-2. 運転状態の選択	7
4-3. 運転スケジュールの設定	10
4-4. チャイルドロックモード	13
4-5. ディスプレイの設定の変更	13
4-6. サブ表示の設定	15
5. 日常の点検とお手入れ	16
5-1. フィルター清掃と交換	16
5-2. 住宅内の給排気グリル、 屋外の換気フードの清掃	18
5-3. 専門業者による定期清掃	18
6. 故障かな?と思ったら	18
7. 点検および修理について	19
8. 仕様	20
9. パラメーター設定モード一覧	21
9-1. パラメーター一覧	21
9-2. 運転状態一覧	21

取付説明書

1. 安全上のご注意	23
2. 各部のなまえと外形寸法	26
2-1. LWZ-130Jの各部のなまえ	26
2-2. LWZ-130JEの各部のなまえ	26
2-3. コントローラの各部のなまえ	27
2-4. 標準構成部品	27
2-5. オプション部品	27
3. 機器の設置	28
3-1. 機器の固定	28
3-2. ダクト配管	29
3-3. ドレン配管 (LWZ-130Jのみ)	30
3-4. 点検口の設置	30
4. 電気配線とコントローラの固定	31
4-1. 機器内部配線	31
4-2. コントローラの固定と 通信ケーブルの接続	32
5. 設定変更	33
5-1. 施工者用設定モードの変更方法	33
5-2. 各パラメーターの変更方法	33
5-3. 施工者用設定モードの パラメーター一覧	34
5-4. 施工者用設定モードの 運転状態一覧	35
5-5. エラーコード一覧	35
6. 試運転	36
保証書	37

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。



警告



禁止



絶対に改造はしないでください。



濡れた手でコントローラを操作や、機器本体のフィルター交換をしないでください。



コントローラに水をかけないでください。また、機器本体や、コントローラが災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



可燃性のガスが漏れた場合は、機器を操作しないでください。



機器本体の近くや、お部屋の給排気口近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。



機器は、お手入れ中以外は停止しないでください。(除湿運転による停止を除く。)



指示



機器に異常が発生した場合は、機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。



機器の移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。



機器本体とコントローラが、正しく取り付けられ、機器本体とコントローラがしっかりと固定されていることを確かめてください。



補強を行なっても震災、その他の天変地異で落下する可能性があります。万が一落下した場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

①機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてください。

②落下物がある場合は取り除いてください。

③建物が揺れている間は機器、及び機器本体の点検口に近づかないでください。



子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

-  機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  ファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。
-  ドレン配管が詰まる、または接続されていない状態では使用しないでください。
(LWZ-130Jのみ)

注意

-  フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。
-  機器運転中は、フィルターカセットを必ず機器本体に固定した状態にしてください。
-  夏場にエアコンの設定温度を下げ過ぎると、機器からの水漏れが発生する可能性があります。

指示

-  機器の点検口下に300mm以上の離隔を開けてください。
-  フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。
-  フィルターの点検清掃をする場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
-  フィルターを機器に戻す際は、フィルターの向きを間違えないようにしてください。
-  ドレン配管が詰まると、漏水の原因となりますので定期的に掃除してください。
(LWZ-130Jのみ)
-  ドレン配管を点検清掃する場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
(LWZ-130Jのみ)
-  設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

2. 特長

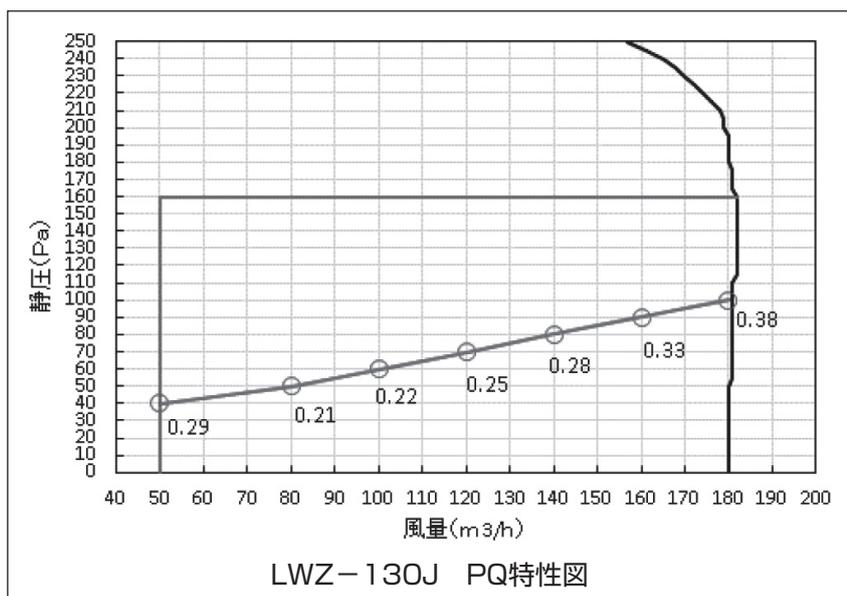
LWZ-130J、及びLWZ-130JE、並びに付属のコントローラ（本書では「機器」と表記）は、給気と排気の2つの送風機（EC遠心ファン）を利用して、屋外の新鮮な空気を屋内に取り入れ、屋内の汚れた空気を排出します。その際、排出する空気から高効率で熱回収を行ない、屋外から取り入れる新鮮な空気に回収した熱を効率よく加えます。これにより、暖冷房負荷の削減に寄与できる換気システムです。LWZ-130J、LWZ-130JE（本書では「機器本体」と表記）を天井裏に設置することで室内の空間を占有することがありません。

操作は、壁面に設置したコントローラで行ないます。5m³/h単位できめ細かく設定風量を変更できるため、換気による無駄なエネルギーロスをカットすることができます。

○LWZ-130J 顕熱交換型換気システム

室内で発生した臭気や、湿気等が新鮮な外気と交わらないシステムです。

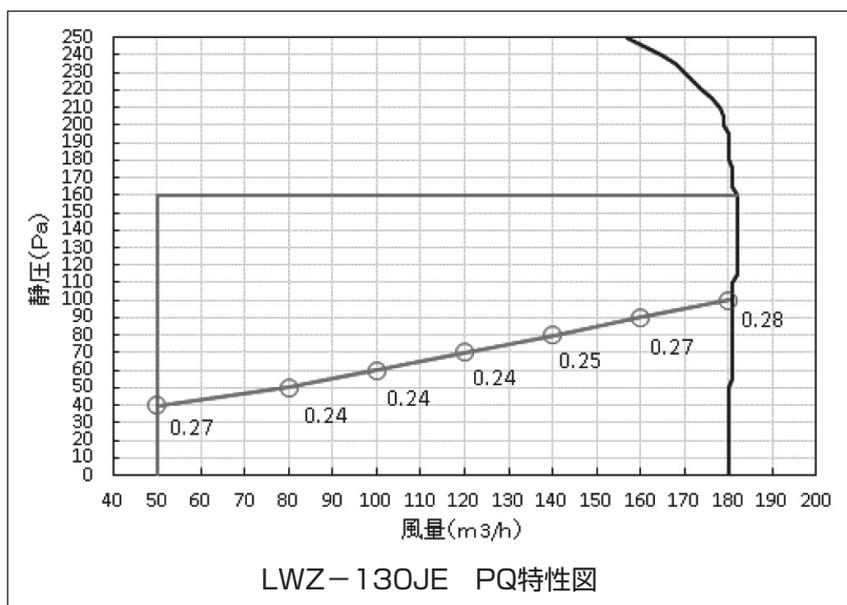
湿気の多い場所も機器本体1台で換気可能になります。



○LWZ-130JE 全熱交換型換気システム

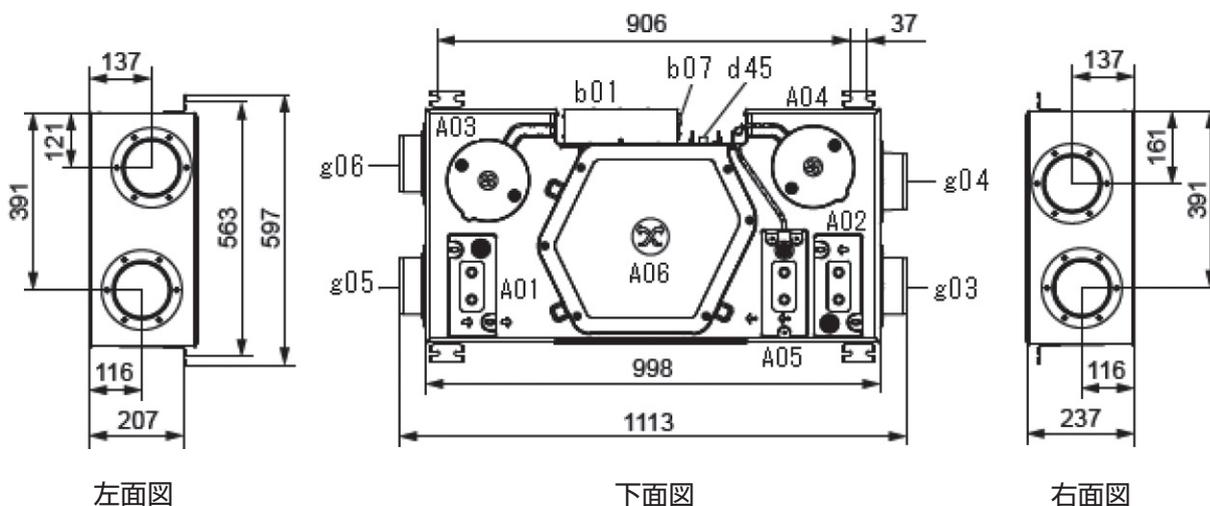
住宅内の湿気に含まれる熱も熱回収する高効率システムです。

住宅内の湿度維持にも貢献します。



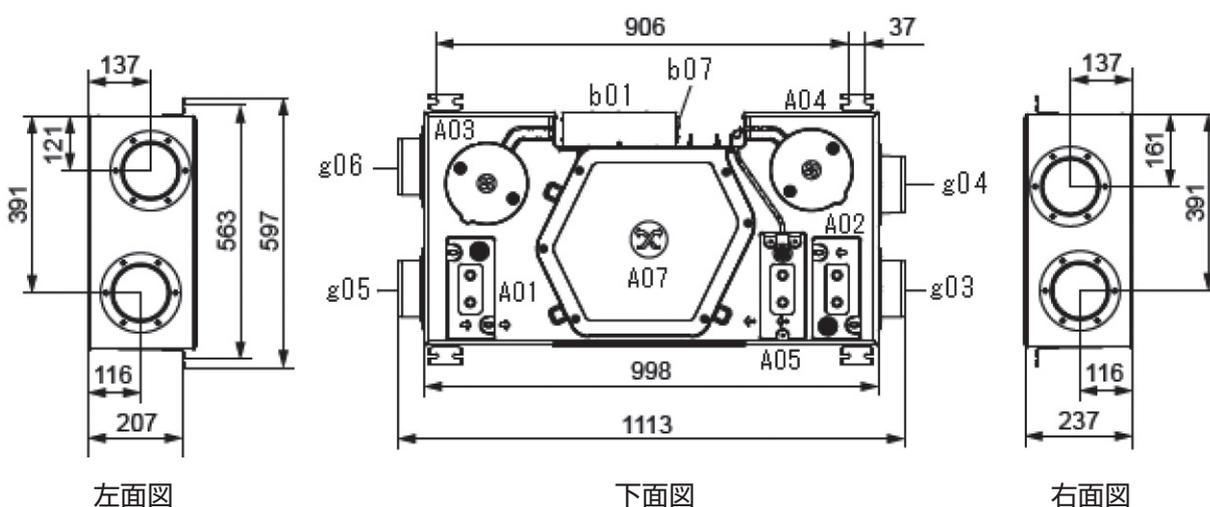
3. 各部のなまえ

3-1. LWZ-130Jの各部のなまえ



図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A06	ドレンパン	g03	外気接続口 (OA)
A02	屋外側フィルターカセット	b01	制御ボックス	g04	排気接続口 (EA)
A03	給気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g05	還気接続口 (RA)
A04	排気用ファンモーター	d45	ドレン管接続口	g06	給気接続口 (SA)
A05	プレヒーター	—	—	—	—

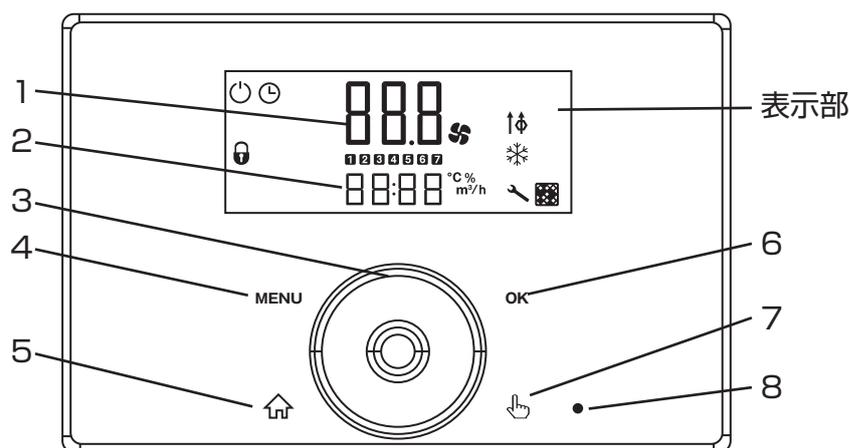
3-2. LWZ-130JEの各部のなまえ



図番	名称	図番	名称	図番	名称
A01	室内側フィルターカセット	A05	プレヒーター	g03	外気接続口 (OA)
A02	屋外側フィルターカセット	A07	素子カバー	g04	排気接続口 (EA)
A03	給気用ファンモーター	b01	制御ボックス	g05	還気接続口 (RA)
A04	排気用ファンモーター	b07	ケーブル引き出し口	g06	給気接続口 (SA)

3-3. コントローラの表示内容

3-3-1. コントローラの表示



番号	名称	機能
1	メイン表示	運転状態等を表示します。
2	サブ表示	時刻／設定温度／室内温度／室内湿度等を任意で表示します。
3	ホイールダイヤル	選択した項目の数値を増減します。
4	MENUボタン	設定変更画面に移行します。
5	ホームボタン	運転状態の表示に戻ります。
6	OKボタン	設定の確定等を行ないます。
7	パーティーモードボタン	約3秒間長押しで、設定した時間、パーティーモードで運転します。
8	パーティーモードランプ	パーティーモードの間、点灯します。

3-3-2. 運転状態の表示詳細



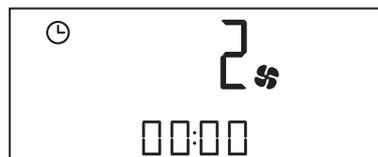
除湿運転：

最低限の換気量で運転し、設定湿度以下になると換気を停止します。



弱運転：

通常運転より少ない換気量で運転します。



プログラム運転：(上図は、通常運転時)

運転スケジュールに従い運転状態を自動変更します。



通常運転：

標準的な換気量で運転します。



パーティーモード：

所定の時間、最大風量で運転します。

3-3-3. ディスプレイ表示詳細

アイコン	アイコン名称	表示内容
	除湿運転	設定湿度以下の場合、機器が停止します。 設定湿度以上の場合、設定風量「0」で運転します。
	プログラム運転	現在時刻設定中、またはプログラム運転中に点灯します。
	ファン	ファンモーター動作中に点灯します。
	未使用	_____
	チャイルドロックモード	点灯中は、コントローラでの操作は無効になります。
	フィルター清掃	フィルターの清掃が必要になると点灯します。
	プレヒーター	プレヒーターが動作中に点灯します。
	エラー表示	点灯時：軽度なエラーが発生しています。 点滅時：重度なエラーが発生しています。
	曜日表示	月曜日を示しています。
	曜日表示	火曜日を示しています。
	曜日表示	水曜日を示しています。
	曜日表示	木曜日を示しています。
	曜日表示	金曜日を示しています。
	曜日表示	土曜日を示しています。
	曜日表示	日曜日を示しています。
	温度表示	室内温度、外気温度、P1 の設定室温、排気の露点温度等を表示しています。
	湿度表示	室内湿度を表示しています。
	風量表示	風量を表示しています。

4. ご使用方法

○「ホームボタン」を押すと、運転状態の表示に戻ります。

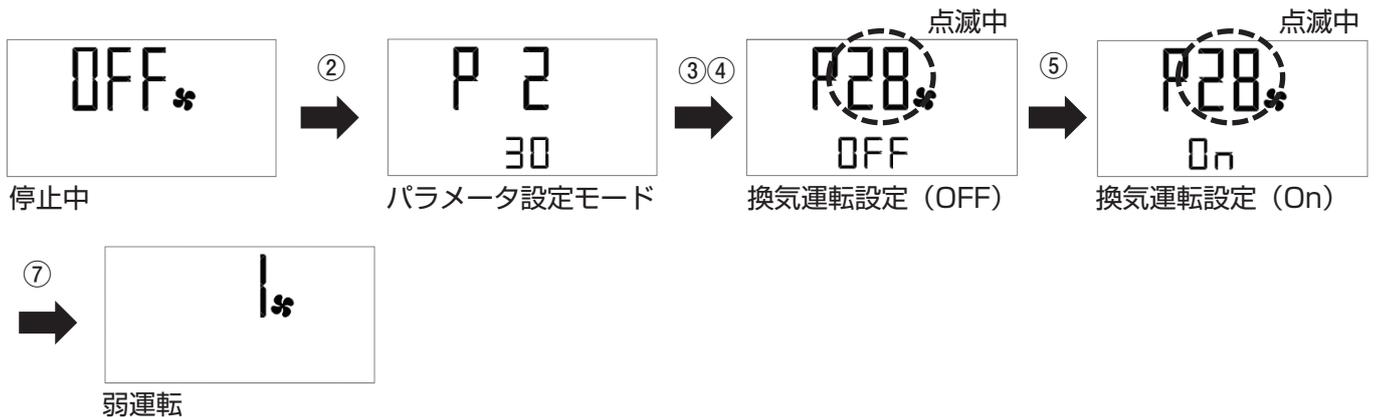
4-1. 運転の開始

- ①機器専用のブレーカを「入」(ON)にして表示部でOFFが点滅する場合は以下の操作をします。
- ②「MENUボタン」を押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ③「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、「P 28」を表示させます。
- ④「OKボタン」を押して、「28」を点滅させます。
- ⑤運転を開始する場合は、「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「OFF」表示を「On」表示に、運転を停止する場合は、反時計回りに回して「On」表示を「OFF」表示に変更します。
- ⑥「OK」ボタンを押して、設定変更を確定します。
- ⑦「ホームボタン」を押して、運転が開始していることを確認します。



MEMO

- 電源を入れた直後は、前回電源を切った際の運転状態で運転を開始します。
- ブレーカ「入」(ON)直後の除湿運転中は、機器が停止したままになります。

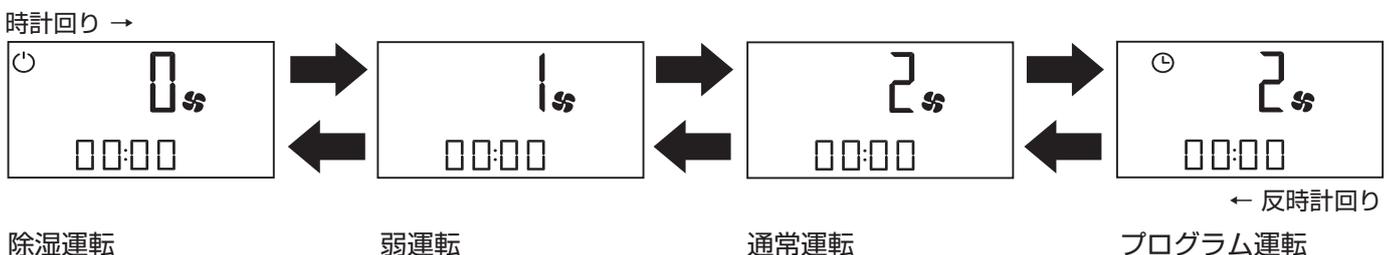
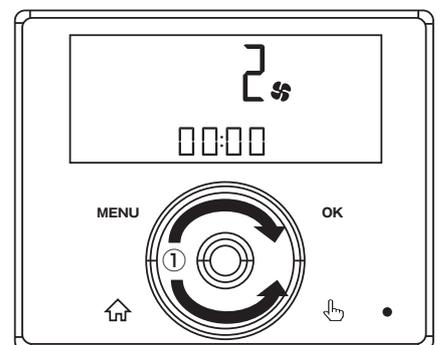


4-2. 運転状態の選択

4-2-1. 通常運転

標準的な換気量で運転します。

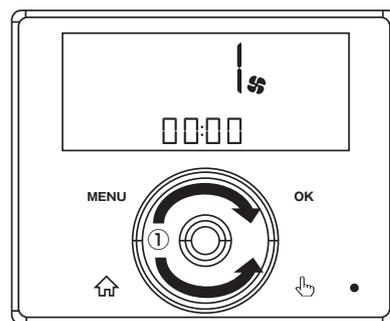
- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、通常運転の表示を点灯させます。



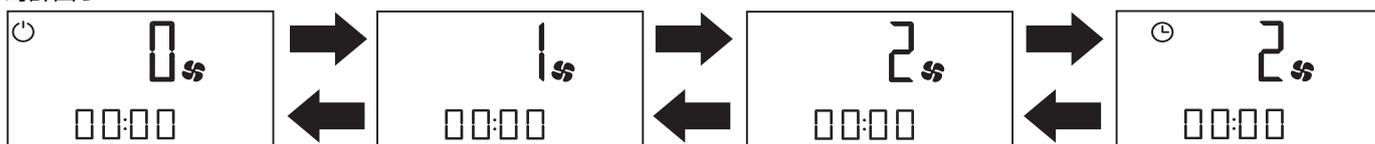
4-2-2. 弱運転

通常運転より少ない換気量で運転します。
就寝時や、不在時等に適した運転です。

- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、弱運転の表示を点灯させます。



時計回り →



除湿運転

弱運転

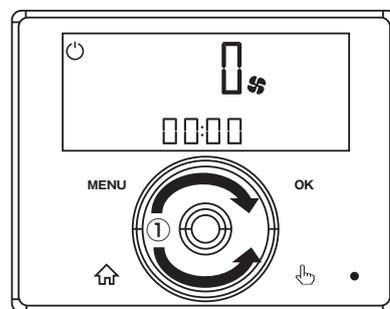
通常運転

← 反時計回り
プログラム運転

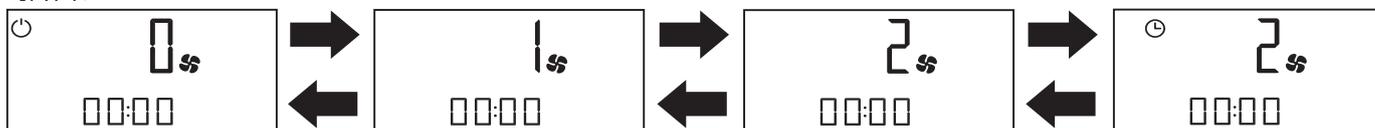
4-2-3. 除湿運転

設定湿度以上の場合は、最低限の換気量で運転します。
設定湿度未満の場合は、運転を停止します。

- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、除湿運転の表示を点灯させます。



時計回り →



除湿運転

弱運転

通常運転

← 反時計回り
プログラム運転

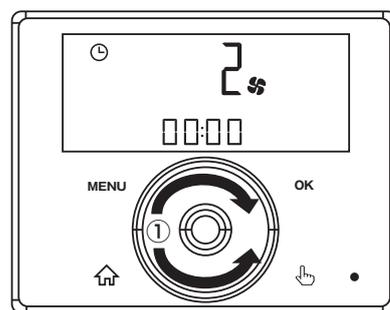
4-2-4. プログラム運転

最大21種類の運転スケジュールに従って、運転状態を自動変更します。

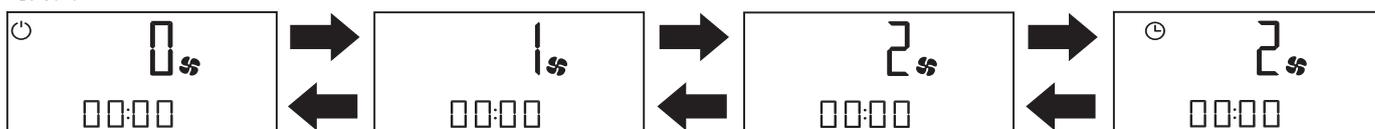
- ①「ホイールダイヤル」を時計回り、または反時計回りに回して、プログラム運転の表示を点灯させます。



- プログラム運転の運転スケジュールの設定は、P. 11「4-3-3項」をご参照ください。



時計回り →



除湿運転

弱運転

通常運転

← 反時計回り
プログラム運転



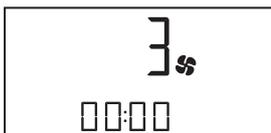
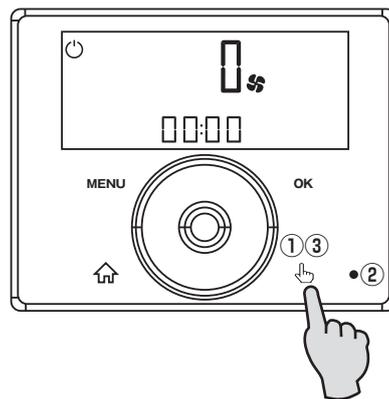
- 運転スケジュールの設定が行なわれていない場合は、通常運転になります。

4-2-5. パーティーモード

所定の時間、最大風量で換気します。

(1) パーティーモードの開始と停止

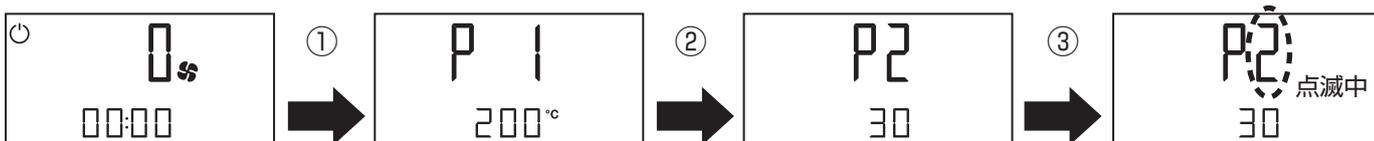
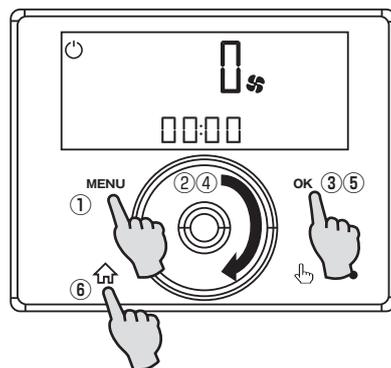
- ①「パーティーモードボタン」を2秒間押します。
- ②「パーティーモードランプ」が点灯し、表示部の表示が変わります。
所定の時間最大風量で換気後、元の運転状態に戻ります。
- ③途中でパーティーモードを止めたい場合は、再度、「パーティーモードボタン」を2秒間押します。



パーティーモード中の表示部の表示

(2) パーティーモードの自動停止までの時間の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P2」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して「2」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、パーティーモードの自動停止までの時間を1~240分で設定します。
- ⑤「OKボタン」を押して時間を確定させ、「2」の点滅を終了させます。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



運転状態の表示

パラメーター設定モード

パーティーモードの自動停止までの時間設定

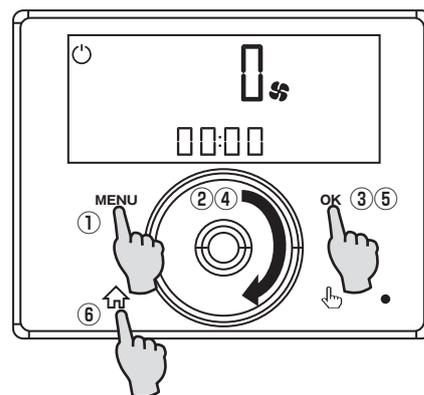


パーティーモードの自動停止までの時間

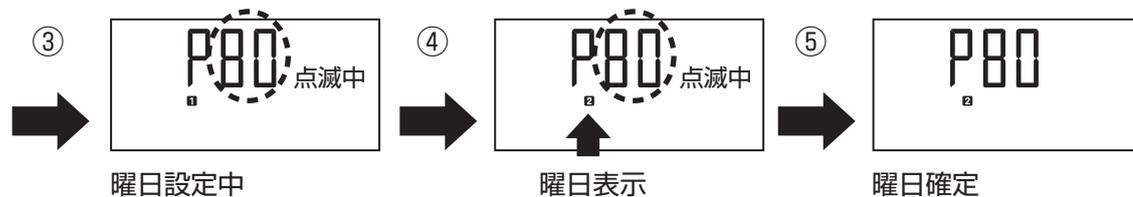
4-3. 運転スケジュールの設定

4-3-1. 現在の曜日の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P80」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「80」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、現在の曜日を1~7で選択します。
- ⑤「OKボタン」を押して「80」を点灯させ、変更した曜日を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。

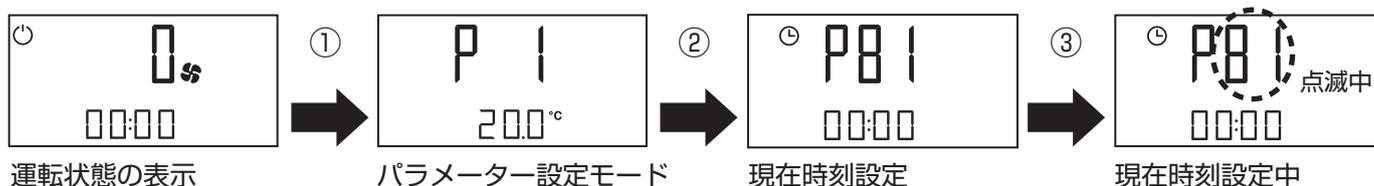
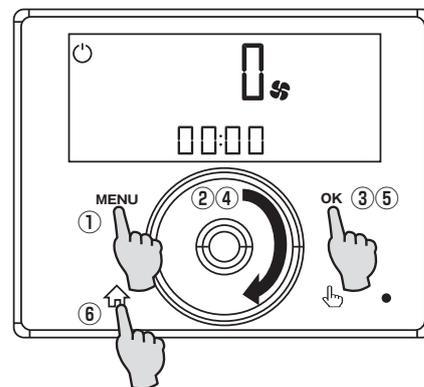


数値	曜日
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日



4-3-2. 現在時刻の設定

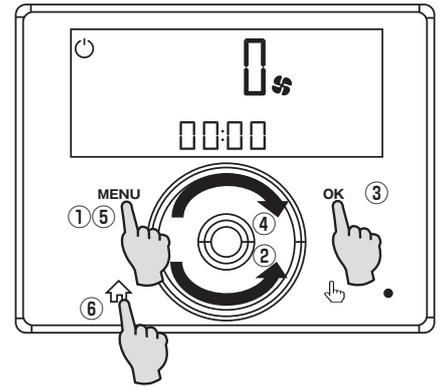
- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を時計回りに回して、「P81」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「81」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して現在時刻を変更します。
- ⑤「OKボタン」を押して「81」を点灯させ、変更した現在時刻を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



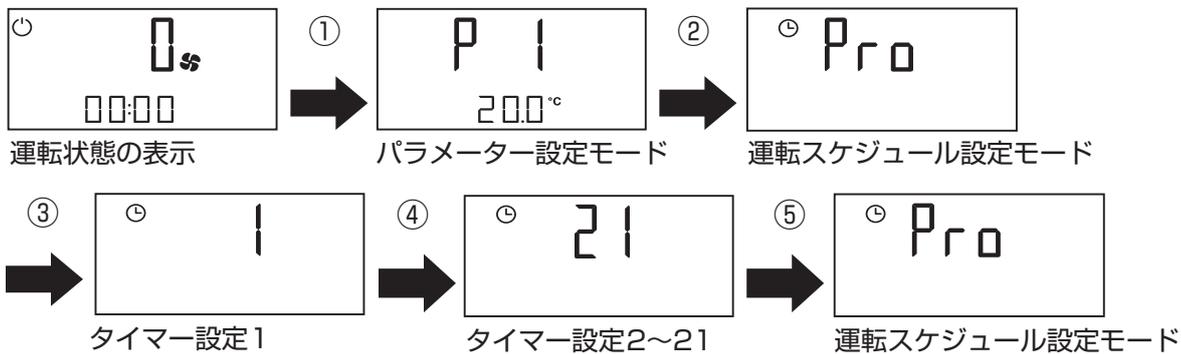
4-3-3. 運転スケジュールの設定

(1) 運転スケジュールの選択

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を反時計回りに回して、「Pro」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「1」を点灯させます。
- ④「ホイールダイヤル」を時計回りに回して「1～21」の運転スケジュールを選択し(2)(3)(4)で運転条件の設定を行ないます。
- ⑤「MENUボタン」を押すと一つ前の画面に戻ります。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



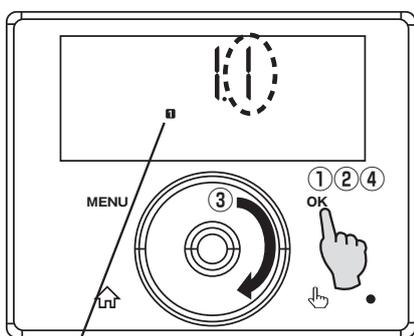
運転スケジュールの設定内訳



設定	1～21.1	1～21.2	1～21.3	1～21.4
項目	曜日	運転状態	開始時間	終了時間

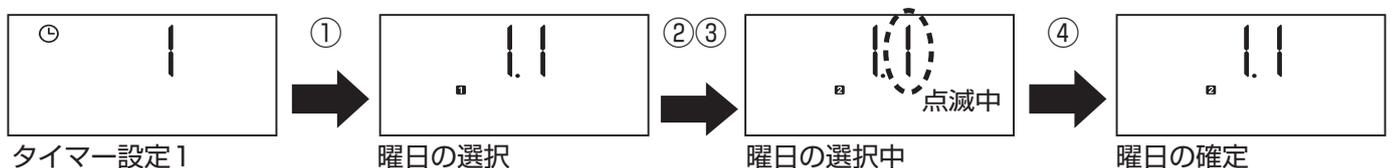
(2) 曜日の選択

- ①(1)で選択したタイマー設定(1～21)の状態です「OKボタン」を押して、「X. 1」(Xは1～21の値)を表示させます。
- ②「X. 1」表示での状態で「OKボタン」を押して、小数点第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、運転スケジュールを設定する曜日を選択します。
- ④「OKボタン」を押して確定して、少数第1位の値の点滅を終了させます。



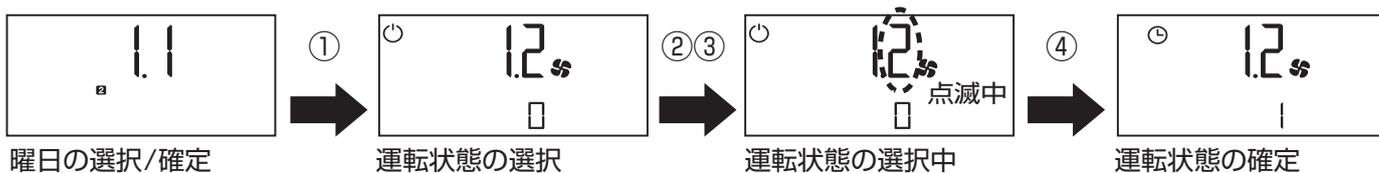
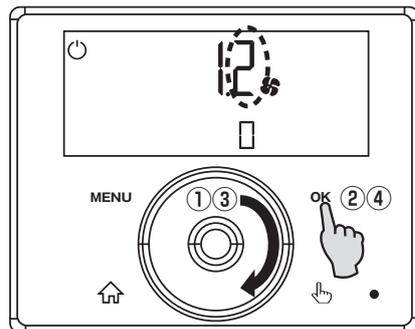
曜日表示

曜日表示	項目
1	月曜日の風量を変更する時間を設定。
2	火曜日の風量を変更する時間を設定。
3	水曜日の風量を変更する時間を設定。
4	木曜日の風量を変更する時間を設定。
5	金曜日の風量を変更する時間を設定。
6	土曜日の風量を変更する時間を設定。
7	日曜日の風量を変更する時間を設定。
1 2 3 4 5 6 7	毎日の風量を変更する時間を設定。
1 2 3 4 5	月～金曜日の風量を変更する時間を設定。
6 7	土、日曜日の風量を変更する時間を設定。



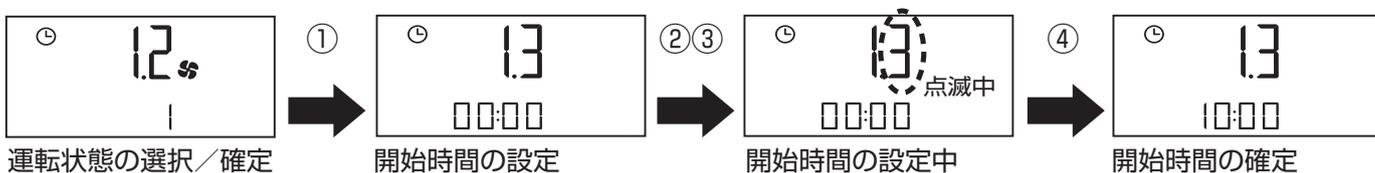
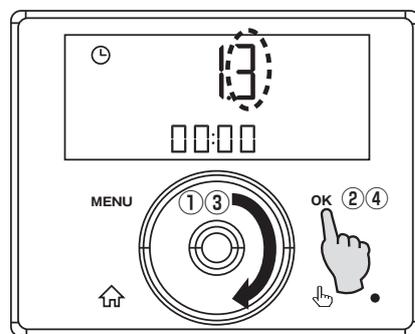
(3) 運転状態の選択

- ① (2) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 2」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、運転状態の値「0」「1」「2」を選択します。
- ④「OKボタン」を押して、変更した運転状態を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。



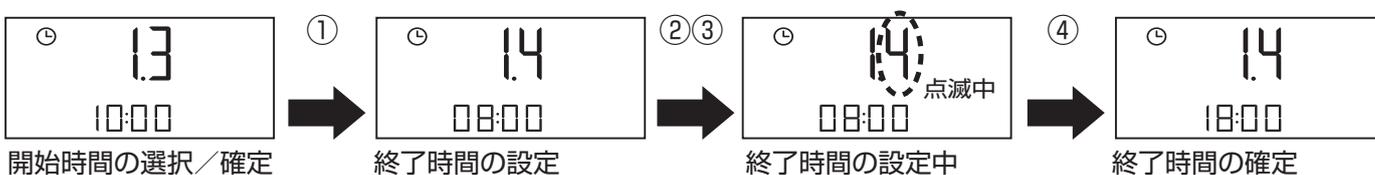
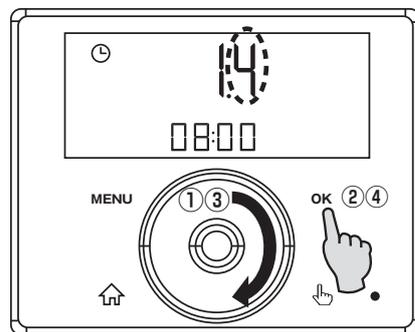
(4) プログラム運転の開始時間を設定

- ① (3) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 3」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、プログラム運転の開始時間を00:00～23:59の間で設定します。
- ④「OKボタン」を押して、プログラム運転の開始時間を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。



(5) プログラム運転の終了時間を設定

- ① (4) の状態から「ホイールダイヤル」を回して、「X. 4」を表示させます。
- ②「OKボタン」を押して、小数第1の位の値を点滅させます。
- ③「ホイールダイヤル」を回して、プログラム運転の終了時間を00:01～24:00の間で設定します。
- ④「OKボタン」を押して、プログラム運転の終了時間を確定して、小数第1位の値の点滅を終了させます。
- ⑤「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



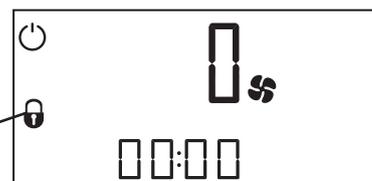
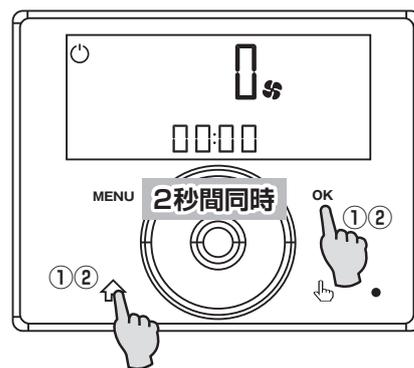
次の運転スケジュールの設定をする場合は、(2)～(5)に従って繰返し設定を入力します。

4-4. チャイルドロックモード

- ①「ホームボタン」と、「OKボタン」を同時に2秒間押すと、チャイルドロックモードのアイコンが点灯します。
- ②「ホームボタン」と、「OKボタン」を同時に2秒間押すと、チャイルドロックモードのアイコンが消灯し、チャイルドロックモードが解除されます。

MEMO

- チャイルドロックモードのアイコンが点灯中は、解除以外の操作を受け付けなくなります。

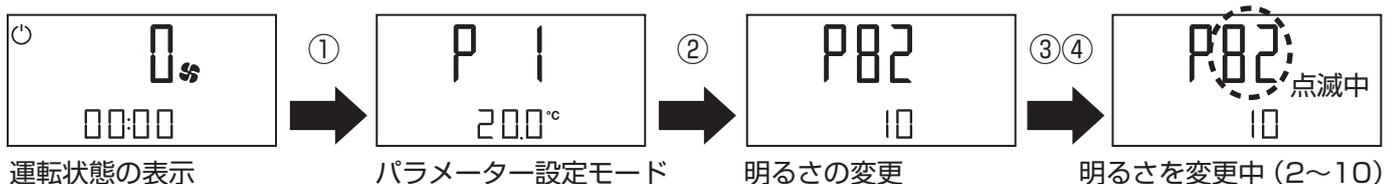
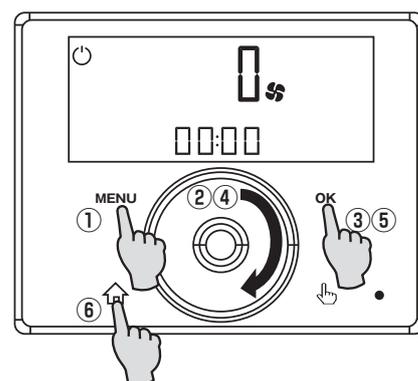


チャイルドロックモードのアイコン

4-5. ディスプレイの設定の変更

4-5-1. ディスプレイの明るさの変更

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P82」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「82」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して2~10でディスプレイの明るさを調整します。
- ⑤「OKボタン」を押して「82」を点灯させ、変更した数値を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



明るさを確定

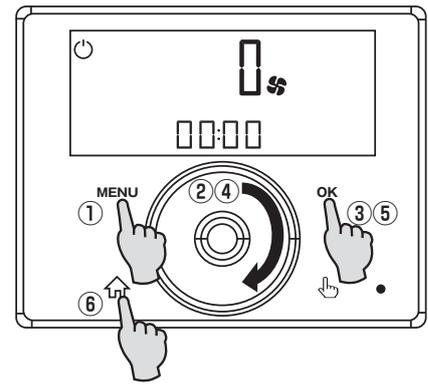
MEMO

- 明るくしたい場合は、数値を大きくします。(最大 10)
- 暗くしたい場合は、数値を小さくします。(最小 2)

4-5-2. バックライトの設定

(1) 点灯状態の設定

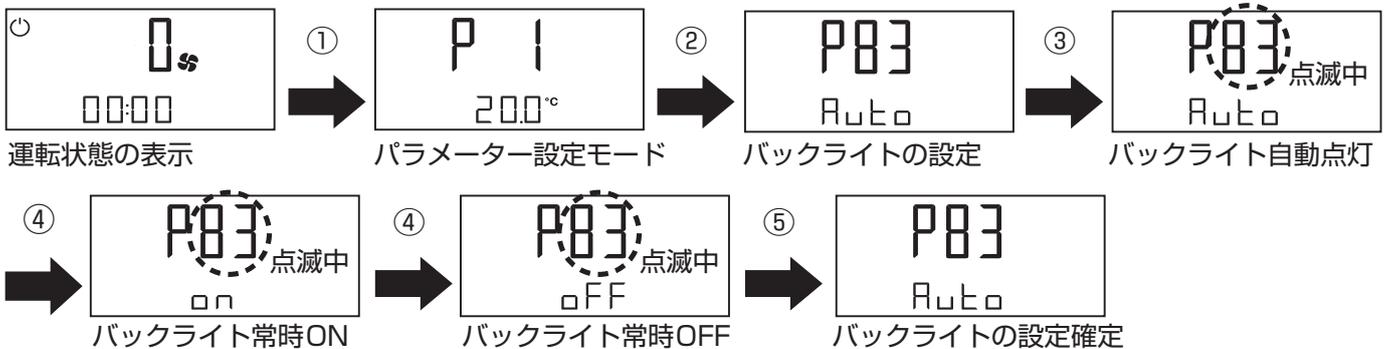
- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P83」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「83」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、Auto/On/Offから選択します。



MEMO

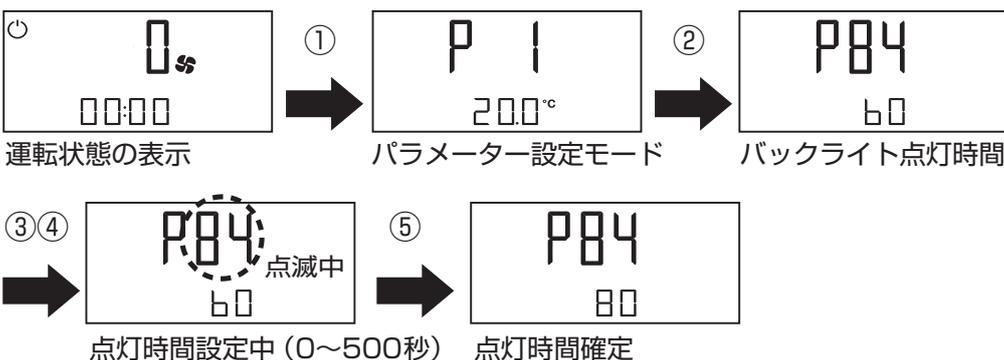
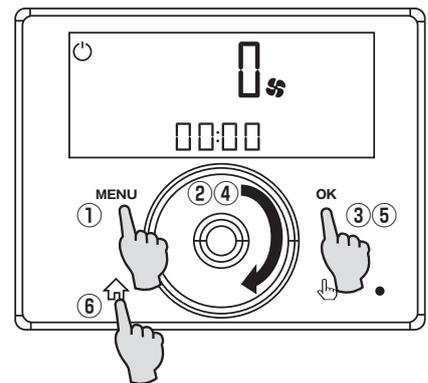
- Auto：無操作の状態で、P84で設定した時間表示部のバックライトが点灯します。
- On：常に表示部のバックライトが点灯します。
- Off：常に表示部のバックライトが消灯します。

- ⑤「OKボタン」を押して「83」を点灯させ、変更した設定を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



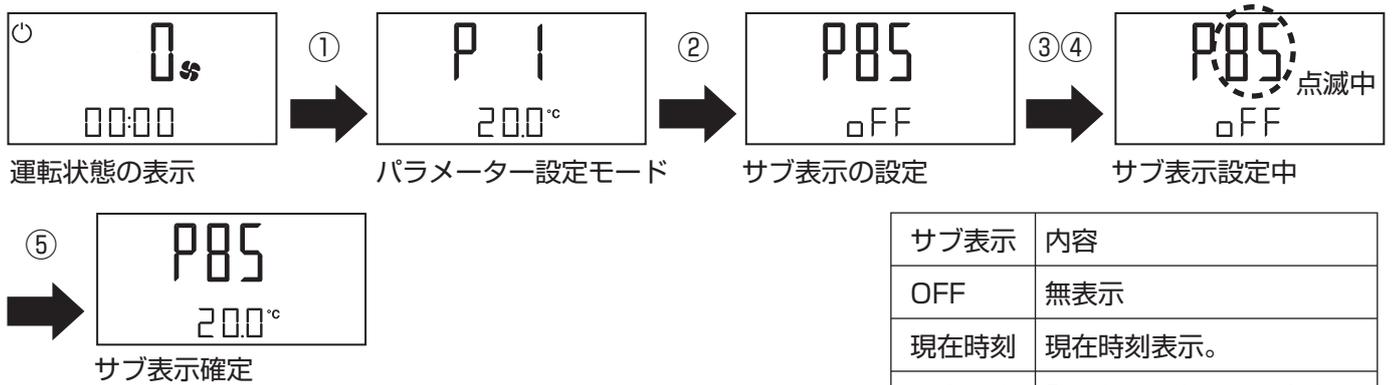
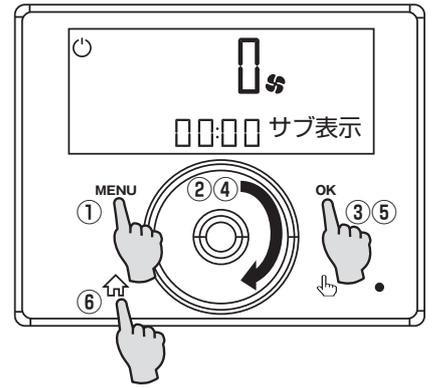
(2) 点灯時間の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P84」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「84」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して10～500秒でバックライトが無操作状態で点灯する時間を設定します。
- ⑤「OKボタン」を押して「84」を点灯させ、変更した設定を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



4-6. サブ表示の設定

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P85」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「85」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回してOFF / 現在時刻 / 設定温度 / 室内温度 / 室内湿度から選択します。
- ⑤「OKボタン」を押して「85」を点灯させ、変更した設定を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転状態の表示に戻ります。



サブ表示	内容
OFF	無表示
現在時刻	現在時刻表示。
設定温度	「P1」で設定した温度表示。
室内温度	住宅の室内温度を表示。
室内湿度	住宅の室内の湿度を表示。

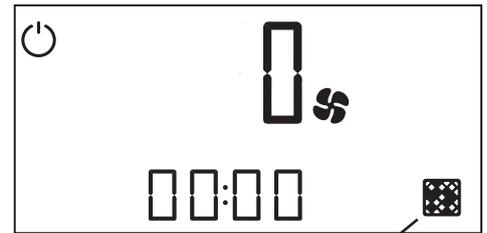
5. 日常の点検とお手入れ

通常は乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。(機器本体は不可です。)

ベンジン、シンナー、及びクレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、コントローラを傷めますので絶対に止めてください。

フィルター清掃のアイコンが点灯した場合は、5-1項に従ってフィルターの清掃、または交換を行なってください。

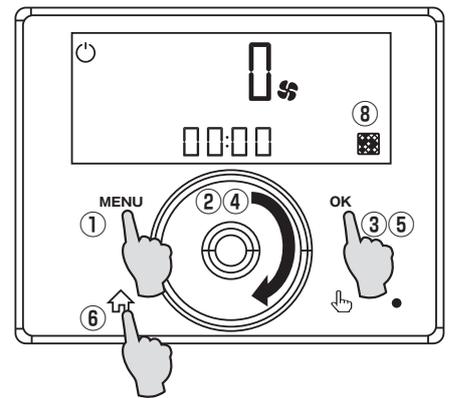


フィルター清掃のアイコン

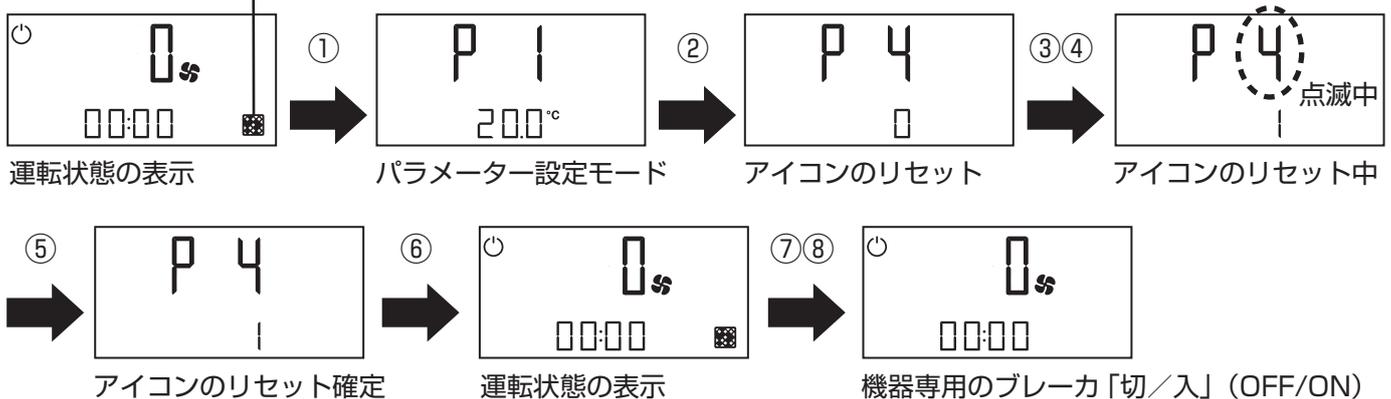
5-1. フィルター清掃と交換

5-1-1. フィルター清掃アイコンのリセット

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「P 4」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、「4」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して「1」に設定します。
- ⑤「OKボタン」を押して「4」を点灯させ、変更した「1」を確定します。
- ⑥「ホームボタン」を押して、運転表示状態に戻ります。
- ⑦機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして、5-1-2項に従いフィルターの清掃、または交換を行ないます。
- ⑧機器専用のブレーカを「入」(ON)にして、フィルター清掃アイコンが消えることを確認します。

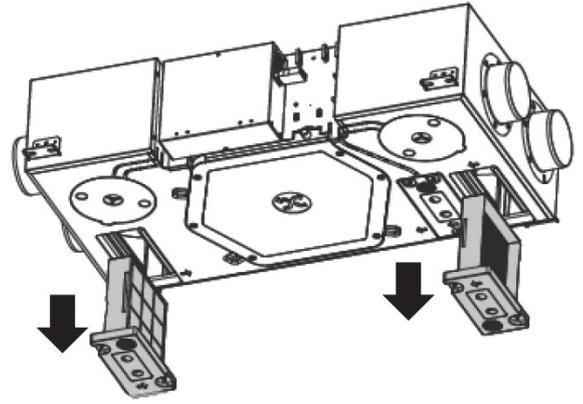


フィルター清掃のアイコン



5-1-2. フィルターの清掃と交換方法

- ① 機器専用のブレーカを「切」(OFF) にして、コントローラの表示が消えていることを確認します。
- ② 機器本体専用の点検口を開きます。
- ③ フィルターカセットを固定している2本の蝶ネジを反時計回りに回して外します。

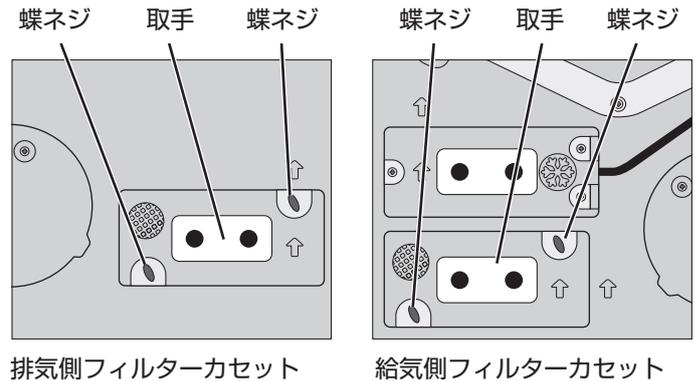


MEMO

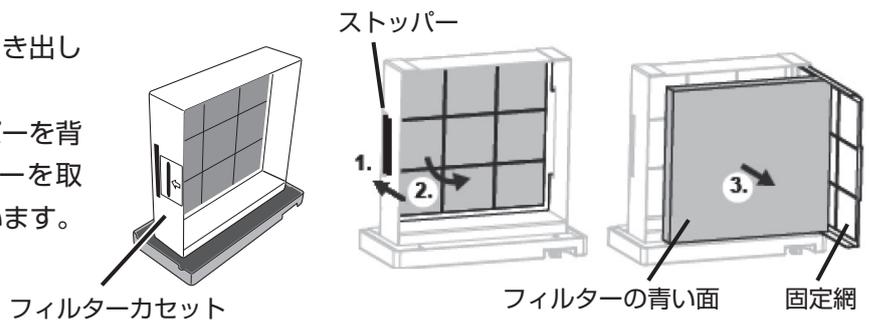
○点検口の開閉は、点検口の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

○プレヒーターを固定しているネジは、外さないでください。



- ④ 取手を引いてフィルターカセットを引き出します。
- ⑤ 青い面を正面に見て、左側のストッパーを背面側に押し固定網を開き、フィルターを取り出して、清掃、または交換を行います。



MEMO

○フィルターは、青い面が機器の外側に向くようにしてください。

- ⑥ 機器本体とフィルターカセットの矢印の向きを合わせて、元の状態に戻します。



おねがい

- 1年に1回はフィルターの交換を行なってください。
- フィルターを水で洗わないでください。また、水に浸けないでください。

5-1-3. 交換用フィルターのインターネットサイトからの購入について

機器本体の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のアドレスのサイトから購入することができます。

[<http://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>]

おねがい

- 必ずご使用になっている機器をご確認の上、その機器に対応した交換用フィルターをご購入ください。



5-2. 住宅内の給排気グリル、屋外フードの清掃

- 各給排気グリル、または屋外フードの取扱説明書に従い清掃してください。
- 外気温度が低下している場合は、機器本体に結露が発生する場合があります、結露が発生した場合は、乾いた布等で吹いてください。

1) 給排気グリルが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

- 住宅内で十分な換気がされない。
- 機器の消費する電力が大きくなります。
- 機器の動作音が大きくなります。

2) 屋外フードが清掃されていないと下記の問題が発生する可能性があります。

- 住宅内で十分な換気がされない。
- 機器の消費電力が大きくなります。
- 機器の動作音が大きくなります。

5-3. 専門業者による定期清掃

- お買い上げより3年を目処に定期清掃を行なうことで、LWZシリーズを永くご利用いただくことが可能になります。
- お買い上げより10年で、必ず専門業者による定期点検を受けてください。

6. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置方法	参照ページ
ファンが停止している。 (空気が流れない。)	ブレーカ	ブレーカを「入」(ON)にします。	P. 7 4-1
	パラメーター	「P28」がOFFになっている場合はOnにします。	P. 7 4-1
	設定風量	除湿運転に設定されている場合は、除湿運転以外に設定します。	P. 8 4-2-3
	フード	給排気の屋外フードを清掃します。	P. 18 5-2
	グリル	給排気のグリルを清掃します。 開口が閉じている場合は、開きます。	P. 18 5-2
操作ができない。	チャイルドロック	コントローラのチャイルドロックを解除します。	P. 13 4-4
	手の乾燥	手が乾燥した状態ですと、コントローラの操作を認識できない場合があります。一度、手を洗う等してから操作してください。	—
	コネクタ	コントローラのコネクタが機器の所定の位置に接続されていることを確認します。	—
風量が少ない。	コントローラ	ホイールダイヤルで除湿運転 → 弱運転 → 通常運転と大きくします。	P. 7 4-2
風量が多い。	コントローラ	ホイールダイヤルで通常運転 → 弱運転 → 除湿運転と小さくします。	P. 7 4-2
エラー表示が出ている。	コントローラ	エラー表示内容を日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 5 3-3 P. 19 7
異音がする。	屋外フード	屋外フードを清掃します。	P. 18 5-2
	給排気グリル	給排気のグリルを清掃します。 開口が閉じている場合は、開きます。	P. 18 5-2
機器本体専用の点検口が、がたつく。	点検口	建築会社、または施工会社にご相談ください。	—
機器本体から水が垂れる。	ダクト接続部	建築会社、または施工会社にご相談ください。	—

上記で改善しない場合は、再度、機器専用のブレーカを「入/切」(ON/OFF)し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

7. 点検および修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P.18「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

TEL : 044-540-3203

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 機種名 : 銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : ファンが回らない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、フィルター等の消耗品を除き、保証書の記載に内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、及びダクトの配管工事、ドレン排水管工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

型名		LWZ-130J	LWZ-130JE
電源		100V 50/60Hz	
寸法	幅 (mm)	998	
	高さ (mm)	237	
	奥行 (mm)	517	
最大風量 (m ³ /h)		180	
消費電力 (W)		14-105	
最大電流 (A)		1.05 (7.05) ※4	
プレヒーター消費電力 (W) ※1		600	
プレヒーター最大電流 (A) ※1		6.0	
騒音 (dB) ※2		31.8 / 40.1 / 45.1	
本体質量 (kg)		18	
ダクト接続口径		φ125	
ドレン管接続口径		φ16.5	—
換気方式		顕熱交換式	全熱交換式
有効換気量 ※3		99	98
温度交換率 (%) ※3	暖房条件	93	78
	冷房条件	77	62
全熱交換率 (%) ※3	暖房条件	—	70
	冷房条件	—	52
周囲温度	最低温度 (°C)	-2	
	最高温度 (°C)	40	
使用温度	外気温度 (°C)	-15~40	
	室内温度 (°C)	15~35 / 24°C以上 (夏期、室内冷房時)	
オプション品		フィルター (G4 / 10枚)	
		高性能フィルター (F7 / 2枚)	

※1：プレヒーターのヒーター容量です。通常は、通電しません。

※2：騒音計測条件 (JIS B8628 100m³/h / 150m³/h / 180m³/h)

※3：100m³/hの場合

※4：()内の最大電流は、プレヒーター使用時です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



【製造年】 年
【設計上の標準使用期間】 10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

<設計上の標準使用期間とは>

運転時間や湿度など、標準的な使用条件 (下表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし J I S C9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 J I S C9921-2 による

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	J I S C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間/年	

9. パラメーター設定モード一覧

9-1. パラメーター一覧

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P2	パーティーモードの動作時間の設定	30	min	1	240	
P3	—	2	—	0	3	
P4	フィルター清掃アイコンのリセット	0	—	0	1	0：通常 1：電源OFF後自動で0に戻る
P28	換気運転設定	On	—	On	OFF	On：機器が動作します。 OFF：機器が停止します。
P80	曜日の設定	—	—	1	7	1：月曜日 2：火曜日 3：水曜日 4：木曜日 5：金曜日 6：土曜日 7：日曜日
P81	現在時刻の設定	—	—	0:00	23:59	
P82	ディスプレイの明るさ調整	10	—	2	10	2：暗い 10：明るい
P83	点灯状態の設定	Auto	—	On	Off	
P84	点灯時間の設定	60	秒	1	500	
P85	サブ表示の設定	Off	—	—	—	Off → 表示なし 現在時刻 → P82で設定した時刻 設定温度 → P1の値 室内温度 → 室内湿度 →

9-2. 運転状態一覧

表示	項目	単位
I1	—	—
I2	室内温度	℃
I3	室内湿度	%
I4	フィルター清掃交換時期	時間
I5	ソフトウェアのバージョン	—
I6	ソフトウェアのパッチ	—
I7	デバイスのシリアル番号	—
I8	プログラムのバージョン	—
I23	換気ファンの回転数	1/min
I24	換気ファンの回転数	1/min
I70	エラー記録	—
I71	エラー記録	—
I72	エラー記録	—
I73	エラー記録	—
I74	エラー記録	—
I75	エラー記録	—
I76	エラー記録	—
I77	エラー記録	—
I78	エラー記録	—
I79	エラー記録	—



○通常使用しません。

STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム

取付説明書

(保証書付)

- 型 名…… ●LWZ-130J
●LWZ-130JE

取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに本書のP. 23「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。
- 点検口の設置に起因するメンテナンス、並びにアフターサービス上で生じた不都合に関しては、貴店の保証規定により是正していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  通信用ケーブルには、100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器本体や、コントローラに水をかけないでください。また、機器本体やコントローラが災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  機器本体や、コントローラは、屋外や、湿気の多い場所、浴室、並びにP. 20「8.仕様」に記載の周囲温度の範囲外になるような環境下には設置しないでください。
-  壁面や、床上に設置するのは、絶対にお止めください。
-  機器本体の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  外気の取り入れ口は、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置や、積雪等で埋もれる位置には設けないでください。
-  電源ケーブル先端にコンセントプラグを使用しないでください。

注意

-  メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電氣的に接触しないよう取り付けてください。

！ 指示

- ！ 電源ケーブルは、屋内配線と直結してください。
- ！ 機器本体はP. 28「3-1. 機器の固定」に記載の離隔距離を守って設置してください。
- ！ 機器本体、並びにコントローラがしっかりと固定されていることを確かめてください。
- ！ 電源仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。
- ！ 機器専用のブレーカを1台設置してください。
- ⚡ アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。
- ！ 電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。
- ！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。
- ！ 機器本体の下面には、必ずフィルター交換と、機器本体の点検を行なえる点検口を設けてください。

⚠ 注意

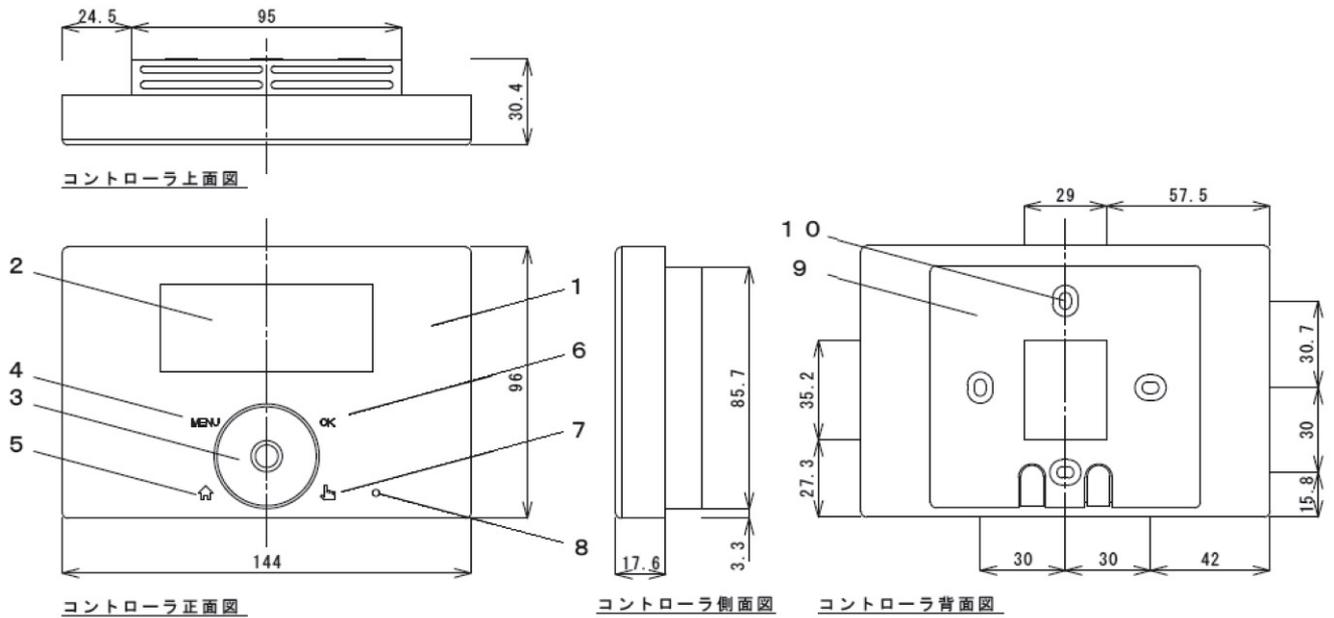
⊘ 禁止

- ⊘ 設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。
- ⊘ 機器本体の天板や、ドレンパンに物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。
- ⊘ ドレン配管は、二重トラップにしないでください。
- ⊘ 次の様なダクト工事はしないでください。（風量の低下や異常音発生、結露等の原因になります。）
 - ① 極端な曲げ。
 - ② 多数の曲げ。
 - ③ 急激なしぼり。
 - ④ ダクト接続部そばでの曲げ。
 - ⑤ ダクトを弛ませる。
 - ⑥ ダクトを固定していない。
 - ⑦ O A、E Aの配管に非断熱ダクトを使用する。
 - ⑧ 断熱範囲外に露出するS A、R Aの配管に非断熱ダクトを使用する。
 - ⑨ O Aの配管先端を、屋外の排気口や排ガスが発生する場所に設置する。
 - ⑩ O Aの配管先端を、池や湖等の水場に面した壁面に設置する。
 - ⑪ ダクト接続部に気密テープをまかない。
 - ⑫ ダクトを他の機器の給気に直結する。
- ⊘ LWZ-130JEのR Aの吸気口を浴室やトイレ等の水場や臭いの発生源に設けないでください。
- ⊘ ドレン水の凍結による水漏れ防止のため、屋外へのドレン水の排水や、ドレン配管の露出を行なわないでください。（LWZ-130Jのみ）
- ⊘ 機器とコントローラ間の配線は、蓄電池や、発電システム、またはそれらに接続している電気配線と平行に配線しないでください。

！ 指示

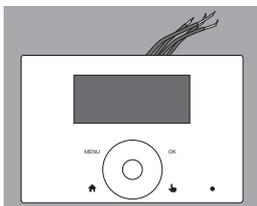
- ！ 換気計算に基づいて選定した機器を設置してください。
- ！ 機器本体は、必ず機器本体の質量に耐えられる補強された物に固定してください。
- ！ 機器本体は、居室（寝室）等の天井や床下への設置は避けてください。
- ！ ドレンの配管工事は、横引き管に10%以上の勾配を必ずつけてください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ オプションのドレンポンプを使用している場合は、ドレンポンプを出てすぐ上へ配管を伸ばしてから下り勾配をつけてください。
- ！ ドレンの配管には、必ずトラップを設け、機器本体内部の負圧が原因となる逆流を防止してください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ ドレン配管上のトラップは、清掃できるようにしてください。（LWZ-130Jのみ）
- ！ 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパー、及びその点検口を必ず設けてください。
- ！ ダクト配管は、機器本体から下り勾配になるように取り付け、断熱処理を確実に行ってください。
- ！ 給排気ダクトの先端には、雨水等の侵入を防ぐための屋外フード等を取り付けてください。
- ！ 地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には防火ダンパーを設けてください。
- ！ 気密は経年劣化の少ないテープ、またはシール等を使用してください。
- ！ 取り付けの際は肌の露出を避け、作業用手袋、保護メガネ等を着用してください。（板金部品で怪我をする、ダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。）
- ！ 仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。
- ！ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ！ 機器運転中は、機器本体にフィルターカセットを必ず正しい向きで挿入して固定してください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

2-3. コントローラの各部のなまえ

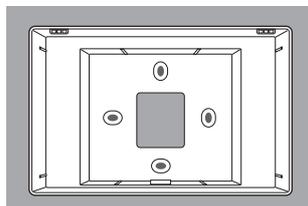


図番	名称	図番	名称	図番	名称
1	コントローラ	5	ホームボタン	8	パーティーモードランプ
2	表示部	6	OKボタン	9	壁固定架台
3	ホイールダイヤル	7	パーティーモードボタン	10	壁固定穴
4	MENUボタン	—	—	—	—

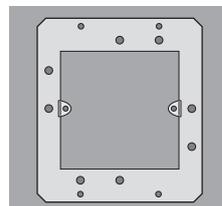
2-4. 標準構成部品



コントローラ



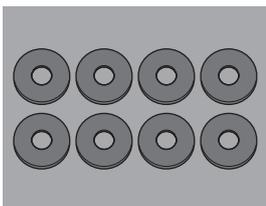
壁固定架台



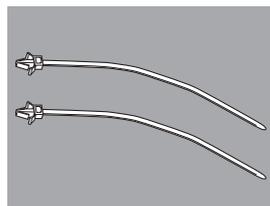
下地プレート



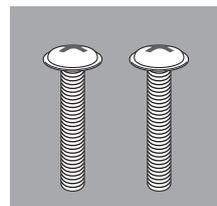
取扱取付説明書



ゴムワッシャー×8枚



インシュロック×2本



ナベ小ネジワッシャーヘッド
M3×30 ×2本

2-5. オプション部品

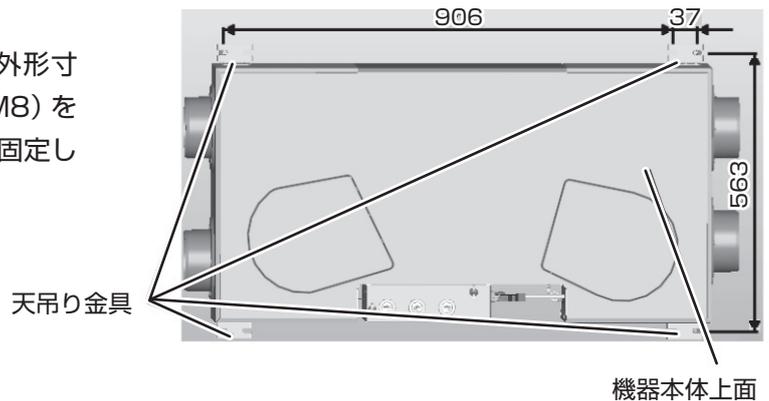
名称	LWZ-130J	LWZ-130JE
フィルター (G4/10枚)	○	○
高性能フィルター (F7/2枚)	○	○
150φコネクタ	○	○
リモコン用4芯ケーブル (10m巻)	○	○
ドレンホース (2m)	○	×
ドレンホースカフス	○	×
ドレンポンプ	○	×

○：使用可能オプション部品 ×：使用できないオプション部品

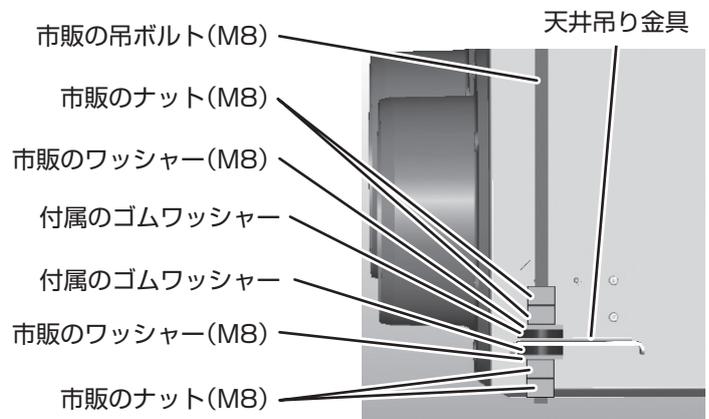
3. 機器本体の設置

3-1. 機器本体の固定

- ①機器本体の据え付け位置を決めます。
- ②P. 26「2. 各部のなまえと外形寸法」に記載の外形寸法の天吊り金具の位置から、市販の吊ボルト (M8) を機器本体のボルトピッチに合わせて設置位置に固定しておきます。



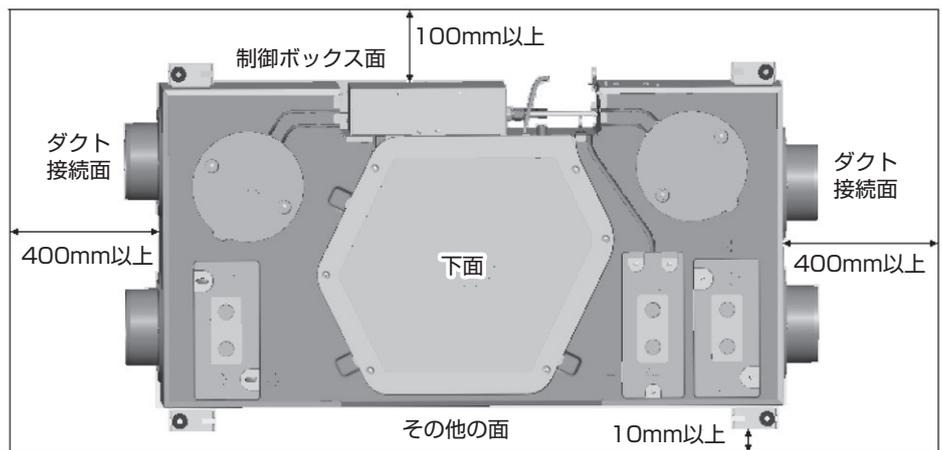
- ③市販の吊ボルト (M8) を下図のように付属のゴムワッシャー、市販のワッシャーとナットで機器本体に固定します。



✓ ご注意

○吊ボルトが機器本体に接触しないようにしてください。

- ④機器本体が水平になるように固定位置を調整します。
- ⑤機器本体の離隔が守られていることを確認します。



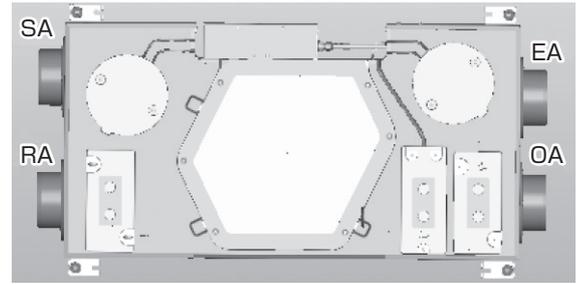
	ダクト接続面	制御ボックス面	上面	下面	その他の面	
離隔距離	400mm以上	100mm以上	10mm以上	10mm以上	10mm以上	

✓ ご注意

○オプション部品のドレンポンプを使用しない場合の下面の離隔距離は、ドレン配管が機器本体から10%以上の下り勾配が確保できるようにしてください。

3-2. ダクト配管

- ①EAダクト接続口と、OAダクト接続口には、市販のφ125の断熱ダクトを配管します。
- ②RAダクト接続口と、SAダクト接続口には、市販のφ125のダクトを配管します。ただし、機器や、ダクトが住宅の断熱の外側にある場合、または通る場合は断熱ダクトを使用します。



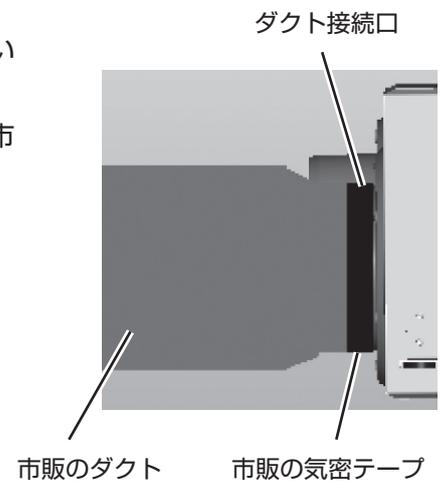
MEMO

○オプション品の「150φコネクタ」を使用している場合は、市販のφ150のダクトを使用します。

- ③ダクト接続前に、市販品のダクトや機器内部に切粉、異物等が入っていないことを確認します。
- ④機器本体のダクト接続口に市販のダクトを差し込み、風漏れがないように市販の気密テープ等でダクト接続口に固定します。

ご注意

- 断熱ダクトを接続する場合は、ダクトと断熱材間に風漏れがないように気密処理してください。
- 140m³/h以上の風量で常時運転する場合は「150φコネクタ」を使用してください。



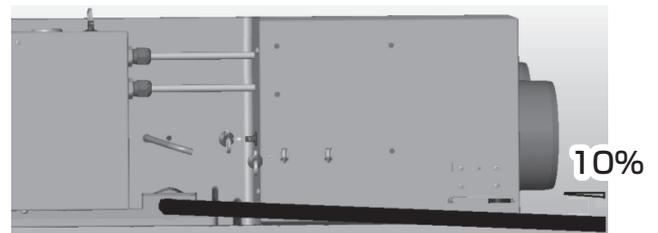
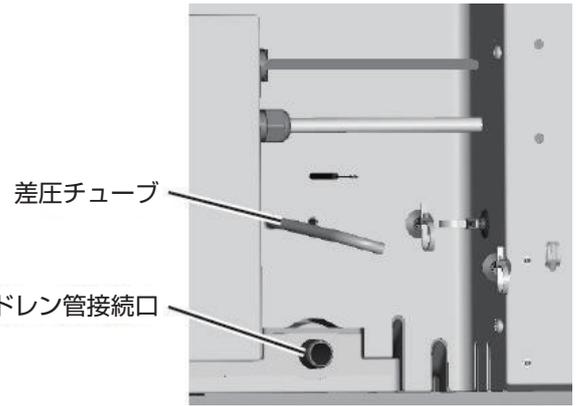
- ⑤市販のフレキダクト等のダクト類は、機器本体から管末に向かって下記の下り勾配で弛むことなく配管し、約1m間隔で天井から吊ります。

風 向	接続口	勾 配
屋外への排気	EA	1/100
室内への給気	SA	1/100
室内からの還気	RA	1/100 浴室等の湿気の多い場所は1/30
屋外からの給気	OA	1/30

- ⑥市販のフレキダクトを曲げる場合は、曲率半径をダクトの外径以上にします。
- ⑦市販のフレキダクトを縦に配管する場合は、必ず頭頂部を天井から吊ります。

3-3. ドレン配管 (LWZ-130Jのみ)

- ①機器本体のドレン管接続口に、市販の内径φ16のドレンホース (以下、ドレンホースと表記) を根元まで差し込み、市販のビニルテープで固定します。
- ②上部の差圧チューブの先端を市販のビニルテープで封止します。
- ③ドレンホースは、ドレン管接続口より高い位置にならないように機器本体から10%以上の下り勾配で、排水可能なところまで配管してください。
- ④ドレンホースは、途中で必ずトラップを接続する、またはドレンホース自体がトラップの役割を果たすようにします。
- ⑤ドレンホースを屋内の排水管等に接続する場合は、間接排水として、屋内の排水管側で別途トラップを設けます。

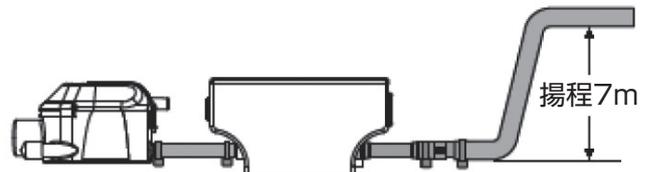


✓ ご注意

- ドレンホース内には冷たいドレン水が流れますので、外表面が結露する場合があります。必要に応じて、断熱ドレンホース等を使用してください。

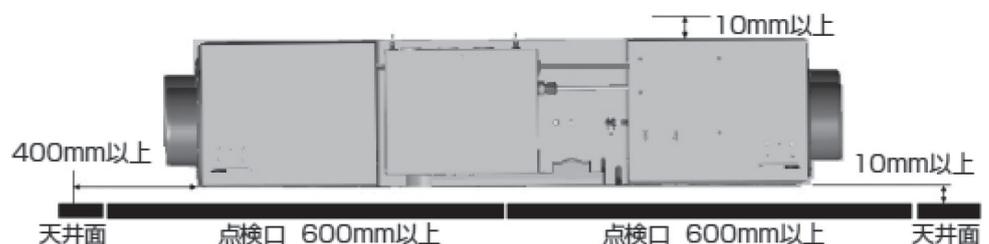
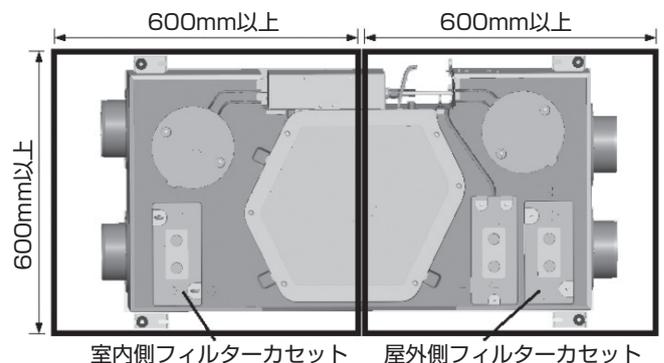
✎ MEMO

- ドレン配管にオプション部品のドレンポンプを使用した場合は、ドレンポンプから出てすぐにドレン配管を縦に持ち上げてください。ドレンポンプから出てすぐに下り勾配を取るとエアだまりにより、ドレンポンプが破損する可能性があります。
- オプション部品のドレンポンプの揚程は7mです。



3-4. 点検口の設置

- ①点検口は、フィルターカセットを取り出せるように、□600mm以上のものを二つ使用します。
- ②点検口は、機器下面から10mm以上離隔をとってください。
- ③天井面に点検口が固定できるように梁等で補強します。



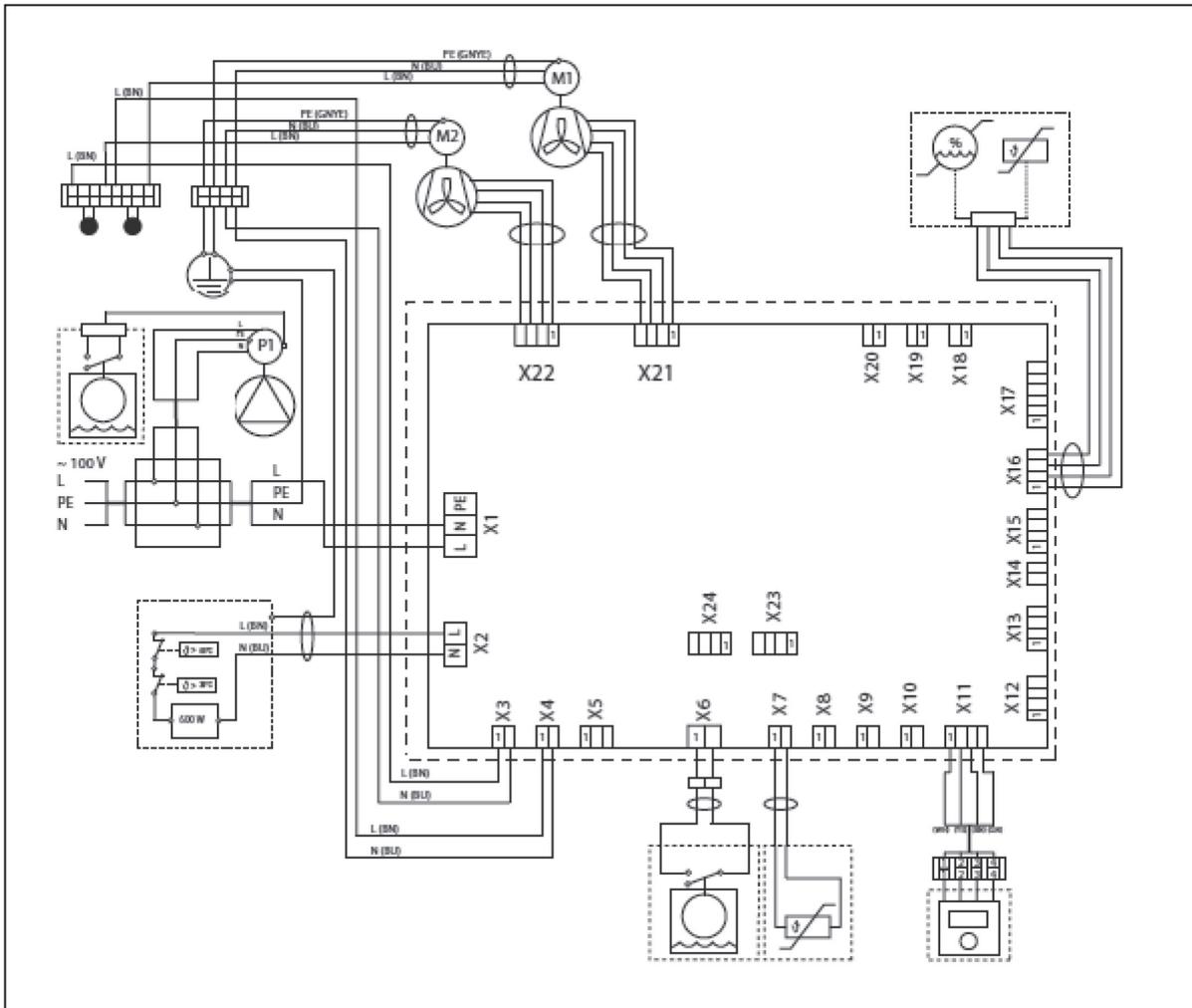
4. 電気配線とコントローラの固定

4-1. 機器内部配線図

- ①機器本体の電源ケーブルと屋内配線を、内線規程に従い直結します。
- ②機器本体のアース線と屋内のアース用配線を、内線規程に従い直結します。

👍 ご注意

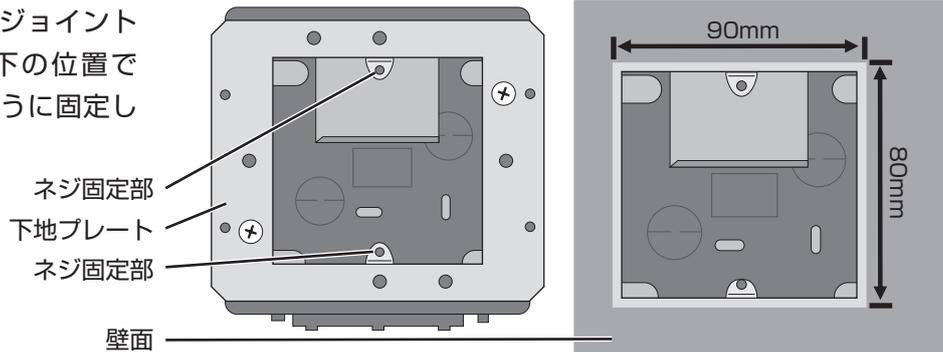
- コンセントプラグ等は使用しないでください。
- 過電圧カテゴリⅢで完全遮断をする全極の接点分離を配線規則に従って固定配線に設けてください。



- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| A1 : 基板 | X1 : 主電源コネクタ |
| A2 : コントローラ | X2 : プレヒーター用電源コネクタ |
| B1 : 還気(RA)温湿度センサー | X3 : ファンモーター用電源コネクタ(給気OA用) |
| B2 : 外気(OA)温度センサー | X4 : ファンモーター用電源コネクタ(排気RA用) |
| B3 : フロートスイッチ | X6 : フロートスイッチ用コネクタ |
| F1 : 手動復帰式過昇温防止器 | X7 : 外気(OA)温度センサー用コネクタ |
| H : プレヒーター | X11 : コントローラ用コネクタ |
| M1 : 給気(OA)用ファンモーター | X16 : 還気(RA)温湿度センサー用コネクタ |
| M2 : 排気(RA)用ファンモーター | X21 : ファンコントロール用コネクタ(排気RA用) |
| N1 : 自動復帰式過昇温防止器 | X22 : ファンコントローラ用コネクタ(給気OA用) |
| P1 : ドレンポンプ (オプション) | |

4-2. コントローラの固定と通信ケーブルとの接続

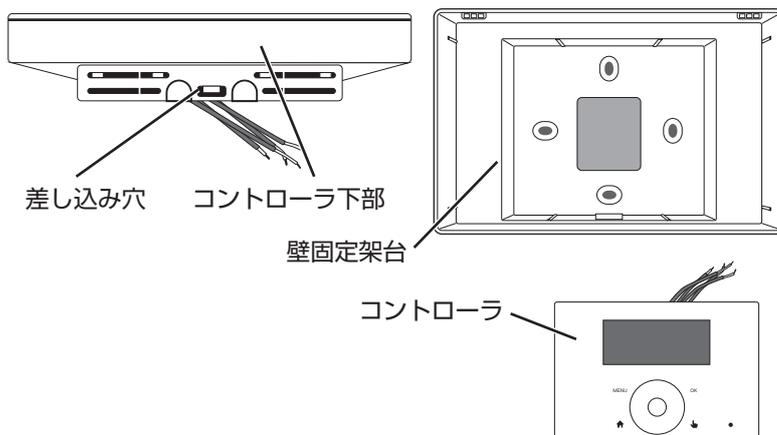
- ①下地プレートを市販のダブルのジョイントボックスに、ネジ固定部が上下の位置でジョイントボックス内になるように固定します。



おねがい

- 壁には縦80mm横90mm以上のコントローラ設置用の穴を開けないでください。コントローラで壁の穴を隠せなくなります。

- ②コントローラ下部の穴にマイナスドライバーを差し込み上にあおり、コントローラ本体と、壁固定架台を分離します。

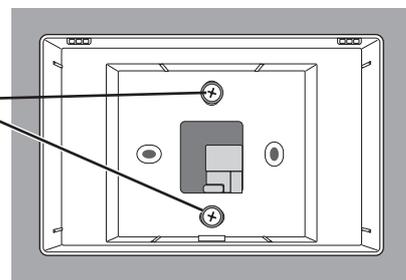


- ③同梱の2本のナベ小ネジワッシャーヘッド M3×30で、壁固定架台を差し込み穴が下になるように、下地プレートに固定します。

MEMO

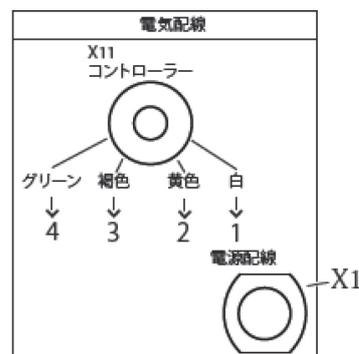
ナベ小ネジワッシャーヘッドM3×30

- ネジの長さが不足している場合は、太さが同サイズで長さの長い市販のネジを使用してください。



- ④コントローラのハーネスと、機器の通信ケーブルを圧着接続します。

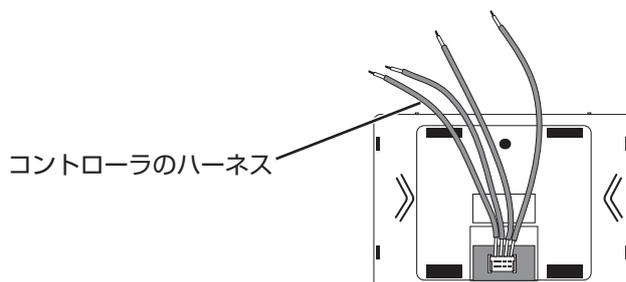
ハーネス上の番号	通信ケーブルの色
1	白
2	黄
3	茶
4	緑



ご注意

- 配線の接続を間違えると機器が正常に動作しません。

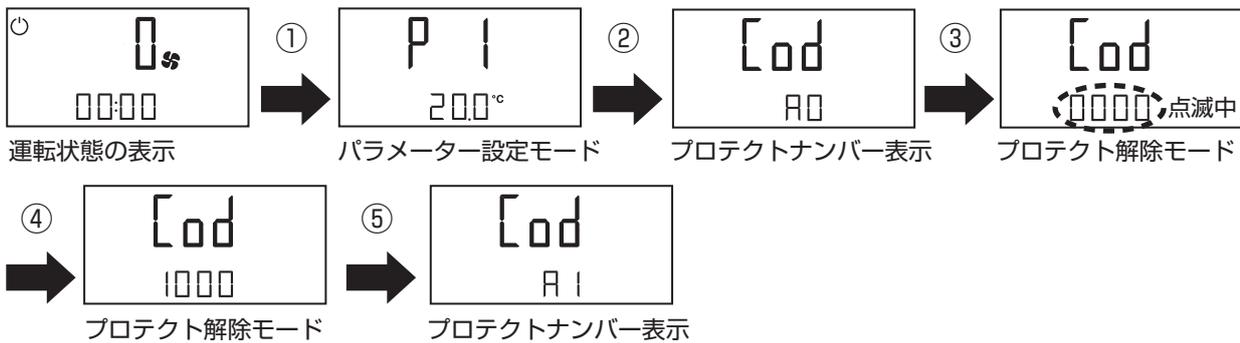
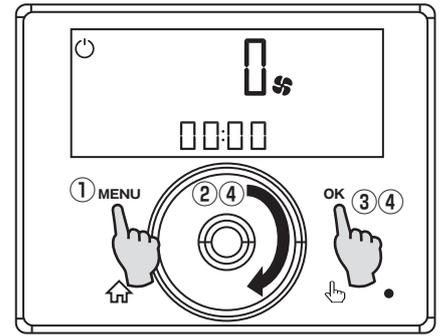
- ⑤コントローラを壁固定架台に押し込んで固定します。



5. 設定変更

5-1. 施工者用設定モードの変更方法

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、メイン表示に「Cod」を表示させます。
- ③「OKボタン」を押して、サブ表示の「0000」の左端の「0」を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回し、「OKボタン」で4桁の数値を左から1桁ずつ確定させながら、サブ表示の数値を「1000」に設定します。
- ⑤サブ表示が「A0」から「A1」に変わり、施工者用設定モードのプロテクトが解除されます。

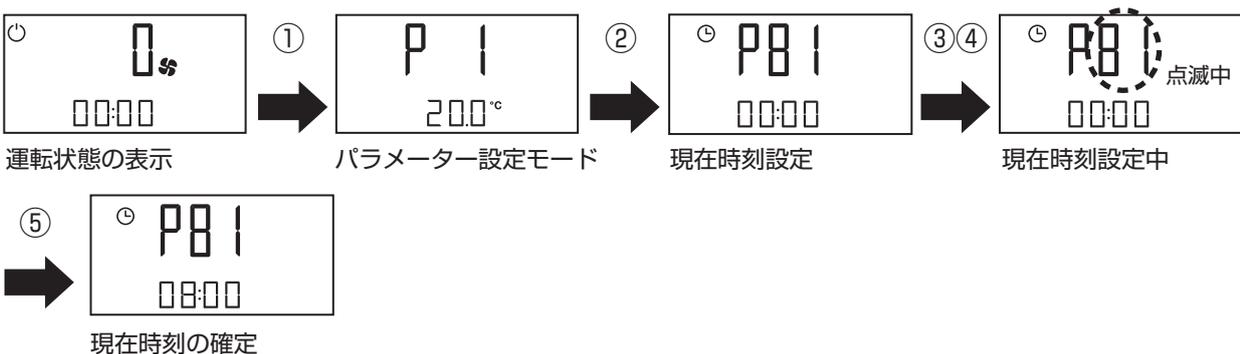
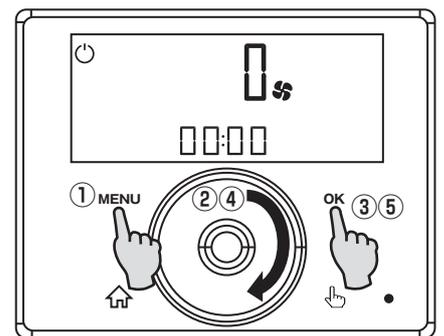


MEMO

○「ホームボタン」を押すと、運転状態の表示に戻り、施工者用設定モードの変更ができなくなります。

5-2. 各パラメーターの変更方法

- ①「MENUボタン」を1秒間押して、パラメーター設定モードを表示させます。
- ②「ホイールダイヤル」を回して、「PXX」を表示させます。
(下図は、P81 現在時刻設定の表示)
- ③「OKボタン」を押して、「PXX」表示の数値を点滅させます。
- ④「ホイールダイヤル」を回して、サブ表示の数値を変更します。
- ⑤「OKボタン」を押して、変更した数値を確定させます。



5-3. 施工者用設定モードのパラメーター一覧

表示	項目	初期値	単位	最小値	最大値	備考
P1	設定温度	20	℃	5	1440	操作後は、ホームボタンを押します
P2	パーティーモードの動作時間の設定	30	分	1	240	—————
P3	—————	2	—	0	3	—————
P4	フィルター清掃アイコンのリセット	0	—	0	1	0：通常 1：リセット
P6	除湿運転時の風量	100	m ³ /h	40	120	除湿運転時の風量の設定
P7	弱運転時の風量	140	m ³ /h	40	180	弱運転時の風量の設定
P8	通常運転時の風量	180	m ³ /h	40	180	通常運転時の風量の設定
P9	パーティーモードの風量	180	m ³ /h	110	180	パーティーモード時の風量設定
P14	給気量調整	0	m ³ /h	-100	+100	給気風量を設定風量より増減させる
P15	除湿運転時の停止時間の設定	1	時間	1	24	除湿運転開始後の停止時間の設定
P16	除湿運転時の動作時間の設定	5	分	5	15	除湿運転開始後の最低限のファン動作時間の設定
P17	除湿運転の基準湿度	65	%	5	95	除湿運転時の基準湿度の設定
P18	プレヒーター停止温度	2	℃	-5	15	プレヒーターが停止する温度の設定
P19	フィルター清掃	90	日	1	365	フィルター清掃のアイコンが点灯する間隔の設定
P22	プレヒーターの使用の有無	1	—	0	1	0：プレヒーターを使用しない 1：プレヒーターを使用する
P28	換気運転設定	On	—	On	OFF	On：換気運転します OFF：換気が停止します
P29	機器のタイプ	5/6	—	1	10	5：LWZ-130J 6：LWZ-130JE その他：未使用
P30	プレヒーター動作温度設定	-10		-10	5	設定温度以下になるとプレヒーターが動作します
P32	外気結露防止機能	1		0	1	0：外気結露防止機能OFF 1：外気結露防止機能On
P33	外気結露防止機能オフセット	0.0	℃	-5	5	
P70	エラーリスト削除	0		0	1	0：エラーリスト保存 1：エラーリスト削除
P80	曜日の設定	—	—	1	7	1：月曜日 2：火曜日 3：水曜日 4：木曜日 5：金曜日 6：土曜日 7：日曜日
P81	現在時刻の設定	—	—	0:00	23:59	—————
P82	ディスプレイの明るさ調整	10	—	2	10	0：暗い 10：明るい
P83	点灯状態の設定	Auto	—	On	Off	Auto：一定時間無操作で消灯 On：常に点灯 Off：常に消灯
P84	点灯時間の設定	60	秒	1	500	—————
P85	サブ表示の設定	Off	—	—	—	Off：表示なし 現在時刻：P81で設定した時刻 設定温度：P1の値 室内温度：I2の値 室内湿度：I3の値

5-4. 施工者用設定モードの運転状態一覧

表示	項目	単位	表示	項目	単位
l 2	室内温度	℃	l 20	機器動作時間	日
l 3	室内湿度	%	l 21	ファンの動作時間	日
l 4	フィルター清掃交換時期	時間	l 23	給気ファンの回転数	1/min
l 5	ソフトウェアのバージョン	—	l 24	排気ファンの回転数	1/min
l 6	ソフトウェアのパッチ	—	l 70	エラー記録	—
l 7	デバイスのシリアル番号	—	l 71	エラー記録	—
l 8	プログラムのバージョン	—	l 72	エラー記録	—
l 9	外気温度 (OA)	℃	l 73	エラー記録	—
l 10	給気温度 (SA)	℃	l 74	エラー記録	—
l 12	外気の相対湿度 (OA)	%	l 75	エラー記録	—
l 13	還気露点温度 (RA)	℃	l 76	エラー記録	—
l 14	外気露点温度 (OA)	℃	l 77	エラー記録	—
l 15	給気ファンの動作状態	%	l 78	エラー記録	—
l 17	排気ファンの動作状態	%	l 79	エラー記録	—
l 19	プレヒーター動作状態	%			

5-5. エラーコード一覧

エラーコード	該当部品	確認項目及び対応表 ※1	
E 8	還気(RA)温湿度センサー	1.センサーの配線	2.還気温湿度センサーの交換 3.基板の交換
E 10	還気(RA)温湿度センサー	1.センサーの配線	2.還気温湿度センサーの交換 3.基板の交換
E 11	外気(OA)温度センサー	1.センサーの配線	2.外気温度センサーの交換 3.基板の交換
E 16	フロートスイッチ	1.設置状態の確認 2.ドレンのチェック	3.フロートスイッチ配線確認 4.フロートスイッチ交換
E 17	外気(OA)温度センサー	1.センサーの配線	2.外気温度センサーの交換 3.基板の交換
E 18	外気(OA)温度センサー	1.センサーの配線	2.外気温度センサーの交換 3.基板の交換
E 101	給気(SA)用ファンモーター	1.負圧発生の有無 2.設置状態の確認 3.配線確認	4.給気用ファンモーターの交換 5.基板の交換
E 102	排気(EA)用ファンモーター	1.負圧発生の有無 2.設置状態の確認 3.配線確認	4.排気用ファンモーターの交換 5.基板の交換
E 105	高温異常	1.外気(周囲)温度確認	2.外気温度センサーの交換 3.基板の交換
E 201	基板	1.基板の交換	1.基板の交換
E 202	基板	1.基板の交換	1.基板の交換
E 203	基板	1.各センサーの配線	1.基板の交換
E 205	高温異常	1.外気(周囲)温度確認	2.外気温度センサーの交換 3.基板の交換

※1：各種スイッチ、センサー等の位置については、本書には記載していません。

6. 試運転

- ①給排気グリル、給排気フードが適切に施工されていることを確認します。
- ②ドレンが適切に配管されていること、点検口から室内側／屋外側フィルターカセットが取り出せることを確認します。
- ③機器の電源電圧を確認の上、機器専用のブレーカを「入」(ON)にして、P.7「4-1.運転の開始」に従い運転を開始します。
- ④P.33「5. 設定変更」を参照して、施工者用設定モードのパラメーター P6～P9の値を変更します。
- ⑤各給排気グリルの風量を確認し、設計風量が確保できるよう各給排気グリルの開度を調節します。
- ⑥機器専用のブレーカを「切」(OFF)にします。
- ⑦下表の試運転確認表に試運転の記録を記入します。

検査日： 年 月 日

検査会社名					
検査担当者名					
設置機種					
電源電圧					
設定風量 (0.5回/h)					
項目	項目	確認内容			合否
①	コントロールの表示	正常に表示される。			
②	運転状況の確認	異常な値が表示されていない。			
③	お部屋名	風量	設定風量	風向 (給気/排気)	合否※
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
				給気 排気	
		外壁 給気フード			給気
	外壁 排気フード			排気	
項目	項目	確認内容			合否
④	ドレン排水 (LWZ-130Jのみ)	ドレン水が流れる。			
⑤	エラーの有無	修理すべきエラーがない。			
⑥	電源	ブレーカの「入/切」で機器の運転/停止を切り替えることができる。			
備考					

※③の合否は、設定風量 ≤ 風量の場合が「合格」です。

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型名	LWZ-130 J	
	お名前			LWZ-130 JE	
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	— —	
	〒住所	印		保証期間	製品
お取り付け日	電話()	年	月		日

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。「お取り付け日」の記載が無い場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。
- ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取り付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス害等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

TEL : 044-540-3203

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <https://www.stiebel-eltron.co.jp>

■製造者
スティーベルエルトロン

機器の仕様、外観、及び価格は予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。